

# 議会だより



▲北十勝2町議会議員研修会を士幌町議会と合同で開催しました。(詳細6ページ)

## 3月定例会

上士幌町議会

検索



**注目!**  
【町民懇談会】  
委員会ごと開催!  
【予算審査】  
議員が斬る!

### 予算審査

一般会計 特別会計

企業会計 予算認定!

### 一般質問

山本和子

子どもたちとともに、  
笑顔で輝く町にするために



江波戸明

地域おこし協力隊を将来とも  
地域の担い手に 他1件



田邊静香

住宅に関する補助制度



西原正行

有害鳥獣対策



### 【町民懇談会】

総文×上高

産経×商工会

### 士幌町との合同研修会開催

各会議結果について

1月～3月 議会日程

【議員さんの通知表】  
議会活動を自己評価しました!

## 一般質問

### ▼第2回定例会

今回の一般質問の様子は、  
上士幌町議会ホームページ  
第2回定例会3月19日(火)  
【午前分】【午後分】から視聴できます

子どもたちとともに、笑顔  
で輝く町にするために

山本 和子 議員



【午前分】 2分頃～

●2022年度の速報値では、不登校や子どもの自殺は過去最多となっており、子どもたちが生きづらい世の中になっている。1989年に国連総会で「子どもの権利条約」が採択され日本も批准しているが、政府は、国連から何度も問題点を指摘されながらも、何の改善もしないまま、2023年4月「こども基本法」を施行した。町も「こども計画」を策定する予定だが、子どもたちの



「第9回子どもおたのしみステージショー」  
(3月23日開催)

権利を保障し、最善の利益優先の計画とし、また、町独自の「子ども権利条例」を制定するべきである。

●「こども計画」は、「子どもの権利条約」の子どもの意見を尊重するとともに、子どもを養育する者、その他の関係者の意見を幅広く聴取し反映させる。「子どもの権利条例」は、今後、町民の理解、参加行動の中で機運が高まり検討されていくものと考ええる。

●町の取り組みについて。①子どもに関わる施策・行事は子どもたちを中心に据え、最善の利益を保障すること。②子どもたちのためのイベント等を支援すること。③子どもの権利等の学ぶ機会を設けること。

地域おこし協力隊制度の魅力を活かし、民間と連携し、地域おこし協力隊員を将来とも地域の担い手として迎えることについて

江波戸 明 議員



【午前分】 5分8分頃～  
【午後分】 0分～

●地域おこし協力隊制度は多様な人材が都市から地方に移り住み、地域の担い手となる仕組み。国は町が民間企業等と連携し、民間事業所で就業することを認めており、多くの町村で実施されている制度である。町はこの制度を活用

●①「かみつ子ふるさと体感塾」は「はじめてのおとまり」など、個性や性別・家庭環境・経済状況問わず、子どもが主体となり、最良の道を開き出せるように企画している。②教育専門職の社会教育主事を中心となり支援を行っている。③学校も含めた社会全体での学習機会を検討していく。

●町としては、町づくりの課題解決に向け柔軟な発想や地域おこしに意欲のある人材を募集し、役場内で活用しており、地域おこし協力隊員を民間に派遣することは検討していない。

●地域おこし協力隊の民間派遣の分かりやすい例として、R町は「蕎麦屋」の継承を目的に、3年間蕎麦屋に研修派遣をしている。本町でも、民間企業等においては、担い手育成、事業継承、新たな事業取り組み対策など、担い手確保等の対策は喫緊の課題である。基幹産業はもとより福祉、医療、観光、交通など多岐にわたっている。改めて国の派遣制度を理解し、企業等へ協力隊員の派遣を実施することについて。

●企業等に協力隊員を派遣することで、公費を使い、会社や工場等に就業し働く仕組みが思いつかない。そこに公共性が無くては行政として難しい面があり、深い調査検討を踏まえる必要から、企業等へ地域おこし協力隊の派遣は行わない。

「地域おこし協力隊活動報告会(3月8日開催)」チラシ ↓

【一般質問における課題の解説】  
国が地域おこし協力隊を企業等に派遣する制度を示しているのにもかかわらず、この制度自体を町は理解していない。そのため、最後まで質疑が噛み合わず、質疑を一旦終了した。質疑後、町長、担当課長に本制度の理解を口頭で求めた。

町の事業の仕組みや取組の状況などを映像で見ることが出来る「まるごと見える町づくり」の取り組みにについて

江波戸 明 議員

町づくりの基本は住民の知力、行政の知らせる力である。デジタル活用で町の事業や施設、自然環境状況、イベントや話題などを動画・映像で住民に発信することについて。  
町は多くの動画を作成しているが、町の様子や住民の暮らしも刻々変化し、情報の陳腐化も早く

最新の情報提供の必要性を認識している。一方、課題別の情報体系の整備も必要だが、制作、更新に費用が掛かることから総合的な動画・映像の提供は検討を要する。

これからの高齢化社会において、段々と高齢者のスマホなどの利活用は進む。住民の中でも特に高齢者層の多くの方は出歩く機会が少なくなり、町の施設や利用状況を知らない方が多くいる。これらを動画等で紹介し、施設を住民の利用促進に対応するなり、イベントなどリアルな状況を提供することは高齢者の外出機会を増幅し、新たなコミュニティを生み出す。

用語解説

上土幌型脱炭素住宅…  
北方型住宅2020やZEHの基準を参照し、町独自に制定した「上土幌型脱炭素住宅基準」を設けて150万円助成している。  
ZEH(通称ゼッチ)…  
ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの略。省エネと創エネで、年間の一次エネルギーの消費量がおおむねゼロになる住宅。

「上土幌町地域材利用促進方針」に示されている通り、町内外含め地域全体で取り組んでいく必要があると考えるが。  
森林産業の振興については、これから更に考えていきたい。森林環境譲与税を活用含めて、地元での循環を大切にしていきたい。

再エネ関係の補助は現在太陽光発電のみ。災害に強く、地域性を活かせる薪やペレットなどの木質系エネルギーを推進する考えについて。  
脱炭素の観点からも森林資源の循環は重要であると考えている。木質エネルギー設備の導入について、令和6年度中に、制度設計を行い、事業創設に向けて検討を進める。

地域材(道産、町産)を「推奨」ではなく、木材利用実績に応じた助成にした方が、新築だけではなくリフォームでも地域材の活用が促進されるのでは。

産地証明が困難である現状や、証明における事務負担増が課題。当面は現行制度を維持する。

木材の流通については全国的な課題。他自治体では地域の特性に応じて地域材活用の補助をしている。施主の要望があれば国産材や道産材のみでの建設は可能と聞

有害鳥獣対策について

西原 正行 議員



【午後分】 51分頃～

町の歴史を映像で残すことも重要な手段である。動画・映像を活用した町づくりについて確認する。

動画であれば、住民はより詳しく情報を知ることが出来る。歴史、産業、施設などを動画で撮ると一度で済むものや継続し更新するものもある。記録等のレベルや費用、人的な対応などの課題もある。

映像等の提供により、住民として未来に向かう町の姿が見え、町外には町を売り込む機能として動画・映像の発信効果は高い。

住民に提供する情報を整理し、その上どうするのか、特に住民に必要な情報として新たなもの、足りないもの等を点検し、検討する。

住宅に関する補助制度について

田邊 静香 議員



【午後分】 10分頃～

過去10年をしてみると、鹿の駆除数が435頭で最高の数字で、熊の出現情報も頻繁に出ており、アライグマの処理数も過去最高となっている。町として被害に対してどのように考え、対策をするか。

本町農業被害は令和2年度が2564万円、令和4年度が1663万円、被害額自体は減少方向にある。鹿については一概には言えないが日頃から猟友会ハンターによる巡回や捕獲活動に加え、町、農協が協同して実施している超音波忌避設備を導入し設置するなどの効果も出ていると推察。ヒグマについては、市街地での出没は確認されていないが、農村地域では目撃や痕跡が数多く寄せられている。個体確認が難しく駆除が困難。アライグマも現在77頭と爆発的に捕獲数が増えている。

2023年からスタートした上土幌型脱炭素住宅の評価について。

質問い合わせは10件ほど、実績は1件。近年の価格高騰で新築の減少が影響したと認識。令和7年度からの建築物省エネ法改正に伴い、新築の省エネ基準適合が義務付けられることや、住宅の資産価値を高める情勢を考え、本制度の利用が促進されていくものと期待。

必須項目である再生可能エネルギーはどのような設備を想定しているか。

種別は定めていない。太陽光、風力、太陽熱温水、木質燃焼、地中熱などがあるが、十勝では太陽光発電設備の利用が多い。

センサーカメラに写るエゾシカ



まずは猟友会の協力によって大きな成果が出ている。その上で被害額は確かに下がっているが、内容を見ると牛の被害数が減っているのが大きく、畑の被害は12ヘクタールから31ヘクタールに逆に増えている。特に鹿の個体数の増加により被害が増えている。また熊の出現によって農作業も命がけとなり畑にも行けないなど困難な状況もある。

本町の猟友会に対して薬莖や鉄砲弾の急騰など負担が増えていることから、有害駆除活動に対して補助金を増額したいと考えている。

農協青年部が中心になって、今、自ら少しでも対策できるように、ハンター、罾の免許取得を検討しているが、支援を検討してはどうか。  
アライグマなど町職員だけでは限界がある。今後、農協と連携として協議させていただく。

議案番号	件名	議決年月日	表決	議決結果
会議案第5号	役場庁舎等整備調査特別委員会の名称等の変更について⇒「役場庁舎等整備カーボンニュートラルプロジェクト調査特別委員会」に変更	3月22日	賛成 10 反対 0	原案可決
意見書案第9号	従来型健康保険証の存続を求める意見書の提出について⇒請願第1号の採択結果を受け、国会及び政府関係機関に提出			
議案第19号	上士幌町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について⇒令和6年度から令和8年度の介護保険料改定【「9段階」から「13段階」へ／基準額 月額6,000円】		賛成 9 反対 1	
議案第20号	上士幌町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について⇒法改正等により従来の基準を改めたもの			
議案第21号	上士幌町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について⇒厚生労働省令改正により、基準が改正されたことから、条例の一部を改正するもの			
議案第22号	上士幌町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について⇒厚生労働省令改正により、基準が改正されたことから、条例の一部を改正するもの		賛成 10 反対 0	
議案第23号	上士幌町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について⇒厚生労働省令改正により、基準が改正されたことから、条例の一部を改正するもの			
議案第24号	令和5年度上士幌町一般会計補正予算(第12号)⇒歳入歳出27,278千円を増額			
監報告第1号	例月出納検査報告について		-	報告済
監報告第2号	定期監査報告について			

### 令和6年第1回 上士幌町議会臨時会 会議結果

【会期】令和6年1月25日(1日間)

※主な結果を掲載しています。



【議員の出欠】  
1月25日出席11人・欠席0人

議案番号	件名	議決年月日	表決	議決結果
議案第1号	令和5年度上士幌町一般会計補正予算(第10号)⇒歳入歳出27,162千円を増額	1月25日	賛成 10 反対 0	原案可決

### 令和6年第2回 上士幌町議会定例会 会議結果

【会期】令和6年3月6日～3月22日(17日間)

※主な結果を掲載しています。



【議員の出欠】  
3月6日出席11人・欠席0人  
3月19日出席11人・欠席0人  
3月22日出席11人・欠席0人

議案番号	件名	議決年月日	表決	議決結果		
会議案第4号	上士幌町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について⇒上士幌町議会議員が上士幌町に対し請負をする場合、状況を公表すること等により、透明性を確保し、議会運営の公正及び事務の執行の適正を図る	3月6日		原案可決		
請願第1号	従来型健康保険証の存続を求める意見書の提出を求める請願⇒従来型保険証の存続を求める内容	3月22日	賛成 10 反対 0	採択		
意見書案第8号	将来にわたり持続可能な農業の実現を図る食料・農業・農村基本法改正等に関する意見書の提出について⇒生産現場の意見に寄り添った農政の確立に向け、関連法案についての要望に関する内容			原案可決		
報告第1号	専決処分報告について⇒車両物損事故に係る損害賠償額の決定及び和解		-	報告済		
議案第2号	令和5年度上士幌町一般会計補正予算(第11号)⇒歳入歳出332,407千円を減額	3月6日	賛成 10 反対 0	原案可決		
議案第3号	令和5年度上士幌町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)⇒歳入歳出52,587千円を減額					
議案第4号	令和5年度上士幌町介護保険特別会計補正予算(第4号)⇒歳入歳出9,461千円を減額					
議案第5号	令和5年度上士幌町簡易水道事業会計補正予算(第3号)					
議案第6号	令和5年度上士幌町下水道事業会計補正予算(第3号)					
議案第7号	上士幌町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について⇒「勤勉手当」が加えられた					
議案第8号	上士幌町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について⇒法改正により条例の一部を改正するもの					
議案第9号	上士幌町三愛介護サービス事業給付条例の一部を改正する条例の制定について⇒事業単価を一部改正するもの					
議案第10号	上士幌町健康増進センター条例の一部を改正する条例の制定について⇒入浴料金減免を「令和9年3月31日」までとするもの					
議案第11号	上士幌町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について⇒令和6年度以降の国民健康保険税に係る一部改正					
議案第12号	町道路線の変更について⇒道路法に基づき路線を変更するもの					
議案第13号	令和6年度上士幌町一般会計予算				3月22日	賛成 9 反対 1
議案第14号	令和6年度上士幌町国民健康保険特別会計予算					
議案第15号	令和6年度上士幌町後期高齢者医療特別会計予算					
議案第16号	令和6年度上士幌町介護保険特別会計予算					
議案第17号	令和6年度上士幌町簡易水道事業会計予算					
議案第18号	令和5年度上士幌町下水道事業会計予算					

※令和6年度予算の詳細は、広報かみしほろ4月号(先月号)「まちの予算」をご覧ください。

### 北十勝2町議会議員研修会【小椋茂明議長記】

令和6年2月15日に上士幌町と上士幌町、両町の全議員を対象とした研修会を初めて行いました。



両町は、2町で環境衛生処理組合を運営するなど、何かと関わりが深く、両議会についても研修や懇談を通して情報共有を図る目的で実施しました。

当日は、上士幌町農畜産物加工研修施設で、両町の議員、局長参加の元、指定管理者である町づくり会社(株)cheersの齊藤マネージャーより設置目的や施設整備、運営方針や管理運営の説明を受けました。町民利用を始め、小中学校の食育体験学習の実施状況、今後テストキッチンを検討しているなどの話を伺いました。また、当町の食品加工センターとの違いである指定管理での運営の利点、課題などを質疑した後、加工施設内を視察し、一部の議員はどら焼きの製作体験も受けました。

研修後は、道の駅に会場を移し、懇親会を通して両議会、議員の意見交換を行い、情報共有が図られました。今後も、会場を交互に移し、毎年開催する方向を確認しました。



No.	主催	公開	主管課	テーマ	日付
37		○	総務課	防災備蓄庫の整備	2/22
38		○		令和6年能登半島地震に係る災害義援金	3/13
39		○	企画財政課	生涯活躍のまちの取組	2/22
40		○		ふるさと納税の取組	
41	総文	○	ゼロカーボン推進課	上士幌町ゼロカーボンの推進	1/25 2/22 3/13
42		○		SDGsの普及・推進に向けた取組	2/22
43			町民課	上士幌町老朽施設解体撤去促進事業補助金交付要綱の一部改正	2/26

◆行政側報告事項

No.	主催	公開	主管課	テーマ	日付
1	総文		保健福祉課	第3期データヘルス計画の策定	2/26
2		後期高齢者医療保険料の料率改定			
3		○	町民課	ごみ中継施設整備の検討状況	2/22
4	産経		建設課	道道上音更上士幌線歩道拡幅工事	2/26
5	総文	○	教育推進課	上士幌高等学校の振興の調査に関すること	2/22

◆その他

No.	主催	公開	主管課	テーマ	日付
1	総文		付託事件審査	請願第1号 従来型健康保険証の存続を求める意見書の提出を求める請願	3/13 3/14
2			その他	カーボンニュートラルなまちづくりプロジェクトに係る所管事務の変更	3/13

総文とは：総務文教厚生常任委員会のこと。  
産経とは：産業経済建設常任委員会のこと。  
公開とは：各委員会の所管事項について、異なる委員会の委員も参加し、審査・調査等すること。

上士幌町議会公式ホームページから  
議会だよりや議会中継をみることができます！



議員さんの通知表～議員活動を自己評価しました～

ホームページをご覧ください。



# 常任委員会開催状況

令和6年 1月～3月

◆行政側協議事項

No.	主催	公開	主管課	テーマ	日付		
1	産経		建設課	町道の認定変更	2/26		
2				除雪車両車庫整備事業			
3				雪寒建設機械購入事業			
4				公用車庫整備事業			
5				上士幌町住生活基本計画及び上士幌町公営住宅等長寿命化計画の策定			
6				まちなか住宅の整備			
7				道営住宅の新たな配置			
8				令和6年度下水道事業計画			
9				令和5年度上士幌町簡易水道事業会計の予算補正			
10				令和5年度上士幌町下水道事業会計の予算補正			
11				まちなか住宅使用料の過誤納		3/14	
12	産経		農林課	食品加工センター運用基準の制定	2/26		
13				居辺地区集中バイオガスプラントに係る指定管理			
14				ナイタイ高原牧場に係る指定管理			
15				上士幌中央2地区道営農地整備事業の実施			
16				北海道猟友会上士幌支部補助金交付要綱の一部改正			
17				上士幌町有害獣捕獲対策			
18				上士幌町未来につなぐ緑の森基金の活用状況及び森林環境譲与税の活用に向けた基本方針の更新			
19				ナイタイ高原牧場に係る指定管理		3/14	
20	総文	○	保健福祉課	上士幌町ふるさと納税・生涯活躍いきがい基金の活用	2/22		
21		○		地域医療振興対策			
22		○		上士幌町三愛計画（案）			
23				福祉灯油等支給事業			
24				上士幌町健康増進センター条例の一部を改正する条例			
25				三愛介護サービス事業給付条例の一部を改正する条例			
26				上士幌町国民健康保険税条例の一部を改正する条例			
27				成年後見制度利用促進支援に係る中核機関の設置			
28				上士幌町介護保険条例の一部を改正する条例等の制定		3/13	
29		○		デジタル推進課		ヒト・モノ MaaS 推進・自動運転バス運行事業	2/26
30		○				上士幌スマートタウン推進	
31		○				住民サービス向上のための行政 DX 加速化事業	
32		○				かみしほろルール OS/ かみしほろスマート PASS 推進事業	
33		○				テレワーク・関係人口創出推進事業	
34		○				移住促進・二地域居住事業	
35						商工観光課	
36		産経		上士幌ゴルフ場利用促進事業			
37		上士幌町創業促進支援事業	2/26				

# 町民懇談会

上士幌町議会 産業経済建設常任委員会 × 上士幌町商工会 青年部・女性部



産業経済建設常任委員会では、2月8日に上士幌町商工会青年部・女性部と懇談会を開催し、【商工業や商店街の現状と将来像に向けて必要なこと】【青年層や女性が議員になるために必要なこと】についてを主なテーマとして意見交換しました。



和やかな雰囲気の中、多くの意見が交わされました。出された意見を商工業、商店街の発展のために反映していきたいと思えます。

また、商店街にどうやって人を呼び込むのか、チャレンジすることに対して、道の駅や他の関係機関とどう繋がっていくのか、出された意見を整理していきながら、これからの議員活動に活かしていきたいと思えます。

【松岡聡美 議員記】



議員さんとお話ししてみませんか？

こんな意見が出ました！

- ・スタンプラリー等のイベントによる集客
- ・空き店舗の利活用のために人材など、必要経費に補助を
- ・地域おこし協力隊とのマッチングなど、後継者の育成、担い手づくり
- ・イルミネーション通りや休憩所を設けるなど、商店街の賑わいづくり
- ・店内にコミュニティの場を設けるなど、買い物客の居場所づくり
- ・道の駅など観光とのつながりが必要
- ・季節感のある装飾など商店街の景観対策
- ・特産品販売、LINE購入システム開発などインパクトのある営業
- ・専業議員の場合は、報酬が低い生計が成り立たない
- ・兼業議員の場合は、休暇を取る必要があり、負担が大きい。



# 町民懇談会

上士幌町議会 総務文教厚生常任委員会 × 上士幌高等学校 生徒会執行部



総務文教厚生常任委員会では、1月22日に上士幌高等学校生徒会執行部と懇談会を開催し、【生徒から見た地域の課題や将来の町づくり】についてを主なテーマとして意見交換しました。



各常任委員会ごとに町民懇談会を開催する新たな取り組みです。生徒から見た地域の課題や将来の町づくりについて意見をいただき、一緒に考え、議会活動にも関心を持ってもらうために行いました。

高校生からは色々な貴重な意見をいただき、他にも授業での苦労話や楽しさ、将来に対する不安や希望が見られました。また、上士幌町民の気さくさ、あたたかさについて多くの声が上がりました。上士幌高校や町の大きな魅力の1つであると感じました。

今回は初回の開催で、はじめはお互いに緊張もありましたが、大変有意義な懇談会となりました。今後も継続して、高校や町の更なる魅力化に繋がっていきたいと思います。

【田邊静香 議員記】

こんな意見が出ました！

- ・町の中心施設へのアクセスや、町内から通う生徒の冬場の交通の便が欲しい
- ・バス待ちする施設や近くにお店が欲しい
- ・気球部のある佐賀高校とバルーン大会を通じた交流の希望
- ・制服購入全額補助や修学旅行費用の補助が魅力
- ・資格取得の助成金はありがたいが、一旦支払ってからお金が戻ってくる仕組みなので、支払いのない方法にできないか。



# ぎかい 日誌

令和6年1月～3月

## 【1月】

- 19日◆議会運営委員会
- 22日◆上士幌高等学校生徒会執行部との懇談会
- 25日◆第1回臨時会  
総務文教厚生常任委員会

## 【2月】

- 8日◆上士幌町商工会との懇談会
- 15日◆北十勝2町議会議員研修会
- 16日◆議会運営委員会
- 22日◆総務文教厚生常任委員会
- 26日◆総務文教厚生常任委員会  
産業経済建設常任委員会
- 28日◆議会全員協議会  
役場庁舎等整備調査特別委員会  
議会運営委員会  
議会だより編集特別委員会
- 29日◆議会運営委員会

## 【3月】

- 6日◆第2回定例会（1日目）  
◆総務文教厚生常任委員会
- 7日◆議会運営委員会
- 8日◆予算審査特別委員会（1日目）
- 11日◆予算審査特別委員会（2日目）
- 13日◆総務文教厚生常任委員会
- 14日◆産業経済建設常任委員会  
◆総務文教厚生常任委員会
- 15日◆議会運営委員会
- 19日◆第2回定例会（2日目）
- 22日◆第2回定例会（3日目）

## タブレットを導入しました！

議会活動の資質向上と運営の効率化に向けて、議会にタブレットを導入しました。



今後は、各種議会の会議や町民の皆様への説明の際などで活用していきます！



2月2日に上士幌町議会議員会（山本和子会長、西原正行副会長）が能登半島地震の被災地に義援金11万円を寄付しました。



### 議会だより編集特別委員会

- |    |    |      |     |    |
|----|----|------|-----|----|
| 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 | 議長 |
| 西原 | 田邊 | 松岡   | 中村  | 小椋 |
| 正行 | 静香 | 聡美   | 哲郎  | 茂明 |

## 第3回議会定例会（予定）

6月6日（木）・7日（金）・21日（金）

インターネットで生中継

<https://www.kamishihoro.jp/gikai/>

※ライブ中継のほか、録画中継も視聴できます。議場への傍聴も含めて、ぜひご覧ください。

# 令和6年度 各会計 予算 審査

## 議員が斬る！

## 各議員の注目テーマはこれだ

渡部 信一 議員



### 予算審査とは

町が住民の福祉のために活動するにはお金が必要です。当初予算は年度開始前に議決を得る必要があります。令和6年度の予算審査も2日間で審査を行い、決算特別委員会で出された意見等も、各事業の予算見積りに反映されていたことから、賛成しました。

馬場 敏美 議員



### 最重要対策としての人口対策

小規模自治体の人口の増減は町の「元気さ」と直結します。本町の人口は微減傾向にありますが、これは本町の人口対策が功を奏してきたことを意味します。国は2000年に20年後の人口推計をしており、本町は3,536人の予測のところ4,778人でした。

西原 正行 議員



### 役場庁舎改修に向けて

新庁舎に向けて計画が進んでおり、合わせて住民サービス向上に向けてDX事業もより進むことになり、町民が使いやすい庁舎が出来上がることに注力いたします。認定こども園においては冷房機増設も決まり、より安全な生活環境が整ってくると思います。

江波戸 明 議員



### 町民に分りやすい審査を目指して

予算特別委員会は町が行う様々な仕事に係るお金の使い道を点検し、議決する議会議員の重要な任務です。町の予算は町民生活に直接影響するものであり、町民に分りやすく町の仕事の内容を説明する資料の提供が重要であり、町に分りやすい資料作成を要請しました。

小椋 茂明 議長



### 省エネ家電買換え促進事業

太陽光発電設備等を導入できない町民にも、温室効果ガスの排出削減を図る目的で、省エネルギー性能に優れた冷蔵庫への買換えを支援するものです。対象は10年以上前に製造された物で、上限1/3、8万円の支援。近隣町村でも好評で、どの程度反響があるか注目しています。

### 国制度活用大型予算、説明は丁寧に

新年度予算は町民生活や地域経済等に配慮する中、国支援のデジタル化や脱炭素・太陽光発電の補助など他町より大型の予算です。町庁舎等の整備・脱炭素に向けた取組も具体化しています。近年、横文字も多く、町民の皆様への丁寧な説明を都度求めています。



早坂 清光 議員

### 町民の暮らしに寄り添った支援を

来年度の予算において、脱炭素やデジタル推進に大きく予算化されたイメージがある。未来に向けての町づくりに必要だと認識するが、町民の今ある課題にもしっかり目を向け、来年度の冷蔵庫買い替え事業など、生活に直結するような支援を期待したい。



松岡 聡美 議員

### 注目されるまちづくり

令和6年度一般会計予算の歳入歳出総額が101億7千109万円となり、大型予算となりました。歳入で特筆されるのが国庫支出金が14億4千万円と歳入全体額の14.2%を占めていることです。それだけ上士幌町の「まちづくり」が注目されている証ではないでしょうか。



斉藤 明宏 議員

### SDGs ポイント事業に注目

次年度予算は国からの助成金を含め、SDGs、ゼロカーボン、デジタル化といった事業に比較的多く振り分けられている。今後の町づくりには重要であると考え、一方で、町民の再エネ利用や省エネ意識を醸成するためのSDGsポイント事業に期待、注目している。



中村 哲郎 議員

### 「あって良かった」と思えるように

●「太陽光パネルの廃棄や災害時における対応と消防との連携」  
●「スズメバチが昨年は80件と激増の中、職員のエビペン所持の必要性」  
●『そら』における不登校生徒の柔軟な対応 などについて主に確認しました。利用者が「良かった」と思える対応を求めています。



田邊 静香 議員

### 委員長として

各委員の質疑に対する理事者等の答弁の進行・整理を行いました。委員としては、総括質疑等を行い、討論において、①地方自治を守り切る立場にたっていない②町民の物価高騰の生活不安にしっかり対応した予算になっていない、との理由で反対しました。



山本 和子 議員